



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月26日  
上場取引所 東

上場会社名 サトーホールディングス株式会社  
コード番号 6287 URL <http://www.sato.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長兼最高経営責任者 (氏名) 松山一雄  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員兼最高財務責任者 (氏名) 榎田晃裕 TEL 03-6665-0639  
四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 平成24年12月5日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	42,666	8.6	2,391	28.3	1,819	41.0	729	4.6
24年3月期第2四半期	39,279	1.7	1,864	2.5	1,290	△20.1	697	0.5

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △179百万円 (-%) 24年3月期第2四半期 △317百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	24.22	21.89
24年3月期第2四半期	23.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	71,173	35,552	49.8	1,177.12
24年3月期	74,830	36,172	48.3	1,201.02

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 35,442百万円 24年3月期 36,162百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
25年3月期	—	17.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	19.00	36.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：有

詳細につきましては、本日公表の「期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	9.3	5,800	24.7	5,200	24.7	2,600	33.1	86.35

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	32,001,169株	24年3月期	32,001,169株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,891,498株	24年3月期	1,891,242株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	30,109,818株	24年3月期2Q	30,110,249株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、海外においては、欧州債務危機の影響による世界景気の減速や、中国を始めとするアジア経済の景気減速感が強まりました。

国内においては、東日本大震災からの復旧が徐々に進むなど、企業の生産活動や個人消費は緩やかに回復してまいりましたが、海外経済の減速に伴う円高の定着等、依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは、本年度を起点とする新たな中期経営計画(～2014年度)を策定し、「グローバル化と顧客価値の最大化を追求する」ことを基本戦略に、持続可能な成長力と収益基盤を確立することを経営目標に掲げ、以下の方針に沿った諸施策を実行に移しております。

- ①日本の事業部制の成功を国別に移植
- ②新興国成長市場の開拓
- ③高収益サプライ事業の確立
- ④収益力強化(事業、用途、製品、コスト)
- ⑤全体最適化(IT、SCM、財務、人財育成)
- ⑥環境ビジネス本業化

これらの活動の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は42,666百万円(前年同四半期比108.6%)、営業利益2,391百万円(同128.3%)となりました。経常利益は1,819百万円(同141.0%)となり、これには為替差損549百万円が含まれております。四半期純利益については729百万円(同104.6%)となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

#### <日本>

市場別に構成した各事業部がその専門性を活かし、顧客ニーズを捉えた積極的な提案を行ってきたことで大口の引き合いが増加するなど商談が活発化し、電子プリンタを中心とするメカトロ製品売上は引き続き好調を維持しました。サプライ製品売上についても着実に顧客深耕が進んだことから、上半期過去最高を記録しました。今後についても、成長市場の開拓や用途提案による新たな需要獲得を見込んでおり、事業拡大に向けた営業活動を展開してまいります。

これらの取り組みにより、売上高は31,981百万円(前年同四半期比106.7%)、営業利益2,068百万円(同121.8%)となりました。

#### <米州>

北米市場においては、OEM商談の一部が下期にズレ込みましたが、大手運送業向けやメディカル市場向けにプリンタ需要があったほか、アパレル向けラベル・タグの印字受託事業が活発化するなど、前年並みを確保しました。これまで景気低迷の影響を受けてきた花卉事業についても売上が回復してまいりました。南米市場においては、2012年3月に買収したシール・ラベル製品の製造販売を手掛けるACHERNAR社(アルゼンチン)の売上が寄与いたしました。

これらの取り組みにより、売上高は3,461百万円(前年同四半期比115.4%〔為替影響を除く前年同四半期比115.8%〕)、営業利益141百万円(同213.8%)となりました。

#### <欧州>

構造改革への取り組みによりドイツの採算性が大幅に改善し、下半期黒字化が見込める状況になりました。一方、欧州債務危機による経済活動の低迷の影響を受け売上が伸び悩んだことで、損益の回復は緩慢なものに留まりました。このような環境の中、ドイツでは大手百貨店向けに値下管理商談が成約、英国では大手運輸、百貨店向けにラベル商談が成約するなど、販路開拓の成果が出てまいりました。

これらの取り組みにより、売上高は2,526百万円(前年同四半期比83.0%〔為替影響を除く前年同四半期比91.8%〕)、営業損失114百万円(前年同四半期は営業損失121百万円)となりました。

#### <アジア・オセアニア>

アジア各国で製造業、大手流通業、公共プロジェクトへの需要開拓の取り組みを行うとともに、日本からの支援を一層強化するなど、積極的な営業活動を展開しております。中国に引き続き、タイ、ベトナム、インドネシアを日本直轄として連携を強化するなど、成長市場の需要を取り込む施策を実施しております。オセアニアでは、大手百貨店向け値下管理商談や、大手乳製品製造メーカーとの包括サービス契約も寄与し順調に売上げを伸ばしました。

また、2012年1月に買収したARGOX社(台湾)の業績は順調に推移しており、今後、同社との連携を通じて、相互の販売チャネルを活用した製品供給を開始するなど、新興国市場開拓のスピードを上げ競争優位性を確立してまいります。

これらの取り組みにより、売上高は4,697百万円（前年同四半期比144.5%〔為替影響を除く前年同四半期比146.8%〕）、営業利益316百万円（同141.3%）となりました。

製品別の状況は以下のとおりであります。

- a. メカトロ製品売上 16,743百万円（前年同四半期比111.5%）
- b. サプライ製品売上 25,922百万円（前年同四半期比106.8%）

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、71,173百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,657百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金、たな卸資産の減少等によるものです。なお純資産は、配当金の支払いを行ったこと、為替換算調整勘定が減少したことなどにより620百万円減少し、35,552百万円となりました。

### （キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、9,583百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,794百万円の減少となりました。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは1,133百万円の増加（前年同四半期比105.8%）となりました。

主なプラス要因は税金等調整前四半期純利益1,819百万円、減価償却費916百万円及び、たな卸資産の減少額443百万円等であり、主なマイナス要因は売上債権の増加額153百万円、法人税等の支払額2,150百万円等であります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は755百万円（前年同四半期比106.1%）となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出371百万円、無形固定資産の取得による支出371百万円等によるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは1,938百万円の減少（前年同四半期比172.9%）となりました。

主な要因は、配当金の支払額541百万円、短期借入金の減少額5,978百万円があった一方で、新株予約権付社債の発行による収入5,000百万円があったことによるものであります。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績の見通しにつきましては、日本の市場別各事業部による大手顧客深耕や用途開拓に伴う商談が増加しており一段の売上増を見込んでいるほか、アジア・オセアニア地域における引き合いも活発なことが見込まれます。一方で当第2四半期累計期間において発生した為替差損及び法人税等調整額を計上したことにより、経常利益以下の見直しを行いました。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績は以下のとおり見込んでおります。

### 通期の連結業績予想

売上高	88,000百万円	（前回予想	88,000百万円）
営業利益	5,800百万円	（同	5,800百万円）
経常利益	5,200百万円	（同	5,600百万円）
当期純利益	2,600百万円	（同	3,200百万円）

なお、平成24年10月1日から平成25年3月31日までの期間における為替レートは、平均78円/米ドル、平均100円/ユーロを想定しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、当該変更が当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,613	10,799
受取手形及び売掛金	19,611	19,501
有価証券	143	92
商品及び製品	6,262	5,784
仕掛品	330	197
原材料及び貯蔵品	1,695	1,596
その他	4,061	4,067
貸倒引当金	△86	△65
流動資産合計	44,632	41,975
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,654	7,651
その他(純額)	10,047	9,960
有形固定資産合計	17,702	17,611
無形固定資産		
のれん	5,125	4,479
その他	1,464	1,490
無形固定資産合計	6,590	5,970
投資その他の資産	5,905	5,616
固定資産合計	30,198	29,198
資産合計	74,830	71,173
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,734	4,821
短期借入金	9,889	4,229
未払金	12,465	12,508
未払法人税等	2,167	566
引当金	254	257
その他	4,109	3,707
流動負債合計	33,621	26,091
固定負債		
新株予約権付社債	—	5,000
長期借入金	1,800	1,120
退職給付引当金	1,268	1,257
その他	1,967	2,152
固定負債合計	5,036	9,529
負債合計	38,657	35,621

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,331	6,331
資本剰余金	5,799	5,799
利益剰余金	28,904	29,091
自己株式	△3,459	△3,459
株主資本合計	37,575	37,762
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	△1,412	△2,319
その他の包括利益累計額合計	△1,412	△2,319
少数株主持分	10	109
純資産合計	36,172	35,552
負債純資産合計	74,830	71,173



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	39,279	42,666
売上原価	22,709	24,932
売上総利益	16,570	17,733
販売費及び一般管理費	14,706	15,342
営業利益	1,864	2,391
営業外収益		
受取利息	22	24
受取配当金	0	0
受取賃貸料	53	67
その他	67	49
営業外収益合計	143	141
営業外費用		
支払利息	56	56
為替差損	572	549
その他	87	108
営業外費用合計	717	713
経常利益	1,290	1,819
特別利益		
固定資産売却益	0	3
新株予約権戻入益	13	—
特別利益合計	14	3
特別損失		
事業再編損	116	—
固定資産除却損	—	1
固定資産売却損	0	1
その他	8	—
特別損失合計	125	3
税金等調整前四半期純利益	1,178	1,819
法人税、住民税及び事業税	600	586
法人税等調整額	△120	502
法人税等合計	480	1,088
少数株主損益調整前四半期純利益	698	730
少数株主利益	0	1
四半期純利益	697	729

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	698	730
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	△1,014	△910
その他の包括利益合計	△1,015	△910
四半期包括利益	△317	△179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△317	△177
少数株主に係る四半期包括利益	0	△2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,178	1,819
減価償却費	932	916
のれん償却額	41	403
固定資産売却損益(△は益)	0	△1
固定資産除却損	—	1
事業再編損失	116	—
引当金の増減額(△は減少)	△47	4
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9	△24
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10	3
受取利息及び受取配当金	△22	△24
支払利息	56	56
為替差損益(△は益)	△169	△21
売上債権の増減額(△は増加)	△193	△153
たな卸資産の増減額(△は増加)	71	443
仕入債務の増減額(△は減少)	△478	255
未払金の増減額(△は減少)	△494	148
その他	48	△511
小計	1,059	3,313
利息及び配当金の受取額	23	24
利息の支払額	△57	△54
法人税等の支払額	△373	△2,150
法人税等の還付額	419	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,071	1,133
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△24	△428
定期預金の払戻による収入	43	431
投資有価証券の取得による支出	△112	△0
有形固定資産の取得による支出	△308	△371
有形固定資産の売却による収入	9	17
無形固定資産の取得による支出	△226	△371
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△43	—
その他	△49	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△711	△755
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△124	△5,978
長期借入金の返済による支出	△338	△340
新株予約権付社債の発行による収入	—	5,000
配当金の支払額	△541	△541
その他	△115	△78
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,120	△1,938
現金及び現金同等物に係る換算差額	△429	△234
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,190	△1,794
現金及び現金同等物の期首残高	10,813	11,377
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,623	9,583

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	米州	欧州	アジア・ オセアニア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	29,985	3,000	3,043	3,250	39,279
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,287	30	119	2,722	5,159
計	32,273	3,031	3,162	5,972	44,439
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,697	66	△121	224	1,866

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,866
セグメント間取引消去	7
のれんの償却額	△14
棚卸資産の調整額	5
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,864

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	31,981	3,461	2,526	4,697	42,666
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,902	36	111	2,421	4,471
計	33,884	3,497	2,637	7,118	47,138
セグメント利益又はセグメント損失（△）	2,068	141	△114	316	2,412

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,412
セグメント間取引消去	10
のれんの償却額	△21
棚卸資産の調整額	△5
その他の調整額	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	2,391

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。